

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成29年10月19日 (2017.10.19)

【公開番号】特開2016-165675(P2016-165675A)

【公開日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2015-46360(P2015-46360)

【国際特許分類】

**B 0 1 J 23/44 (2006.01)**

**B 0 1 J 37/02 (2006.01)**

**B 0 1 J 23/89 (2006.01)**

H 0 1 M 8/10 (2016.01)

H 0 1 M 4/92 (2006.01)

H 0 1 M 4/88 (2006.01)

H 0 1 M 4/86 (2006.01)

H 0 1 M 4/90 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 23/44 M

B 0 1 J 37/02 3 0 1 N

B 0 1 J 23/89 M

H 0 1 M 8/10

H 0 1 M 4/92

H 0 1 M 4/88 K

H 0 1 M 4/86 M

H 0 1 M 4/90 M

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月8日 (2017.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

白金からなるシェル層と、前記シェル層に覆われた白金以外の金属よりなるコア粒子とからなる、コア / シェル構造を有する触媒粒子が担体に担持された触媒の製造方法であって、

前記コア粒子を担持した前記担体を、銅イオンを含む電解液中で電解し、コア粒子表面に銅を析出させる電解処理工程と、

銅を析出させた前記コア粒子に、白金化合物溶液を接触させることにより、コア粒子表面の銅を白金で置換し、白金からなるシェル層を形成する置換反応工程を含み、

前記置換反応工程の白金化合物溶液は、クエン酸を含み、

前記電解処理工程の電解液の溶存酸素量を 1 p p m 以下とすることを特徴とする触媒の製造方法。

【請求項 2】

白金化合物溶液中のクエン酸の含有量は、白金化合物のモル数を基準として 4 0 倍以下である請求項 1 記載の触媒の製造方法。

【請求項 3】

電解処理工程は、コア粒子を担持した担体を作用極上に堆積させて電解処理を行うものである請求項 1 又は請求項 2 に記載の触媒の製造方法。

【請求項 4】

コア粒子を構成する金属は、パラジウム、イリジウム、ロジウム、金又はこれらの金属の合金である請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれかに記載の触媒の製造方法。